

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和3年度技術情報第17号（チャのカンザワハダニ）について（送付）

チャのカンザワハダニの発生が急増しています。今後も発生に好適な条件がしばらく続くと予想されるので、ほ場の発生状況に応じて秋整枝後に防除を行ってください。

なお、本情報は病害虫防除所ホームページ（[www.jpnp.ne.jp/kagoshima](http://www.jpnp.ne.jp/kagoshima)）にも掲載しています。



## 令和3年度技術情報第17号

1 対象病害虫 カンザワハダニ

2 対象作物 チャ

### 3 発生状況等

(1) 10月中・下旬の巡回調査では、発生ほ場率は61%（平年34%）、寄生葉率も9.2%（平年：1.3%）と平年より高く（図1）、発生程度の高いほ場が認められた（表1）。

(2) 11月の天候予報では気温、降水量、日照時間とも平年並みと予報されており、今後も好適な条件がしばらく続き、現時点で発生が多いほ場では春期の発生量が多くなる恐れがある。

### 4 防除対策

(1) 発生が多いほ場では、秋整枝後に成虫・幼若虫・卵のいずれのステージにも効果のある殺ダニ剤で、11月中旬～下旬までに防除する。

(2) カブリダニ類など捕食性天敵の活動が活発な時期なので、薬剤は天敵に影響の少ないものを使用する。

(3) 薬剤は、葉裏や裾部に薬液が十分かかるように散布する。

### 5 参考データ

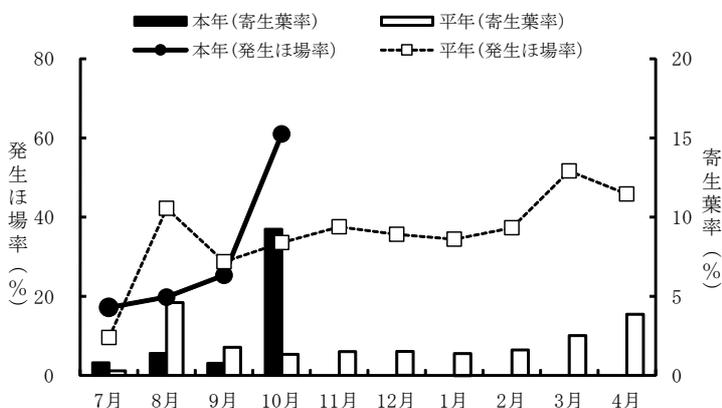


図1 カンザワハダニの発生ほ場率と寄生葉率の推移

表1 カンザワハダニの10月中・下旬の程度別発生ほ場数

地域	ほ場数	発生程度				
		甚	多	中	少	無
南薩	17	1	1	3	4	8
北薩	10		1	1	4	4
大隅	8			1	6	1
計	35	1	2	5	14	13

注) 20地点35ほ場を10月11～21日に調査。